



平成28年8月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年7月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 大庄
コード番号 9979 URL <http://www.daisyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 平 了寿
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 水野 正嗣

TEL 03-5764-2229

四半期報告書提出予定日 平成28年7月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年8月期第3四半期の連結業績(平成27年9月1日～平成28年5月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年8月期第3四半期	51,923	△2.9	240	145.6	247	141.8	3,108	—
27年8月期第3四半期	53,492	△3.4	97	—	102	—	△504	—

(注) 包括利益 28年8月期第3四半期 3,126百万円 (—%) 27年8月期第3四半期 △450百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年8月期第3四半期	150.27	—
27年8月期第3四半期	△24.41	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭
28年8月期第3四半期	43,453	24,892	24,892	56.9	1,194.80	
27年8月期	42,719	22,053	22,053	51.2	1,058.41	

(参考) 自己資本 28年8月期第3四半期 24,713百万円 27年8月期 21,892百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年8月期	—	6.00	—	8.00	14.00
28年8月期	—	6.00	—	—	—
28年8月期(予想)	—	—	—	8.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年8月期の連結業績予想(平成27年9月1日～平成28年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,250	△2.1	600	215.5	600	230.6	1,740	—	84.12

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社ミッドワーク、除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(1)当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 有
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年8月期3Q	21,198,962 株	27年8月期	21,198,962 株
28年8月期3Q	514,689 株	27年8月期	514,689 株
28年8月期3Q	20,684,273 株	27年8月期3Q	20,684,366 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページの「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善は進みましたが、年初来からの急激な円高や株価の下落等もあり、消費マインドも急速に減退し、景気の先行き不透明感がさらに高まる状況下で推移いたしました。

このような状況の中で、当社グループは、当期における最重要経営課題を「収益力の拡大」と認識し、店舗改装の強化、店舗業態ポートフォリオの確立、MD（マーチャンダイジング）戦略のさらなる強化、新しい事業分野への進出、仕入調達力の強化、経営管理システムの革新など様々な施策に取り組みました。

一方、店舗展開におきましては、新規出店を9店舗、店舗改装（業態転換を含む）を31店舗、店舗閉鎖を37店舗で行いました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は、前年同期に比べ2.9%減少の51,923百万円となりました。

セグメント別では、飲食事業につきましては、当社グループの既存店売上高は対前年比100.1%と若干ながら前年実績を上回りましたが、前期及び当期に実施した店舗閉鎖による売上減少が大きく影響し、売上高は前年同期に比べ4.4%減少の43,231百万円となりました。

卸売事業につきましては、売上高は前年同期に比べ0.0%減少の3,223百万円となりました。

不動産事業につきましては、売上高は前年同期に比べ0.2%減少の782百万円となりました。

フランチャイズ事業につきましては、売上高は前年同期に比べ1.2%増加の301百万円となりました。

その他事業につきましては、物流子会社が行うグループ外部取引先への配送業務が増加したこと等により、売上高は前年同期に比べ10.8%増加の4,384百万円となりました。

一方、利益面につきましては、売上高の減少により売上総利益額は減少したものの、販売管理費のコスト削減効果等が寄与したため、営業利益は240百万円（前年同期比145.6%増）、経常利益は247百万円（前年同期比141.8%増）となりました。また、保有資産の売却により固定資産売却益を4,764百万円計上したこともあり、親会社株主に帰属する四半期純利益は3,108百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失504百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は18,391百万円となり、前連結会計年度末に比べて3,127百万円増加となりました。これは、現金及び預金が3,051百万円増加したこと等によるものであります。

また、固定資産は25,061百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,393百万円減少となりました。これは、保有資産の売却により土地が1,816百万円減少したことや、敷金及び差入保証金が620百万円減少したこと等によるものであります。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は9,984百万円となり、前連結会計年度末に比べて1,269百万円減少となりました。これは、未払法人税等が603百万円増加したことに対し、短期借入金が1,610百万円減少したこと等によるものであります。

また、固定負債は8,577百万円となり、前連結会計年度末に比べて834百万円減少となりました。これは、長期借入金が697百万円、社債が90百万円減少したこと等によるものであります。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は24,892百万円となり、前連結会計年度末に比べて2,838百万円増加となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上等により利益剰余金が2,387百万円増加したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年4月13日に公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、株式の取得により、新たに㈱ミッドワークを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58－2項（4）、連結会計基準44－5項（4）及び事業分離等会計基準第57－4項（4）に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を当第3四半期連結会計期間より適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

これによる当第3四半期連結累計期間への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,390	14,441
売掛金	2,278	2,258
商品及び製品	465	507
仕掛品	0	1
原材料及び貯蔵品	175	168
繰延税金資産	317	258
その他	822	944
貸倒引当金	△185	△188
流動資産合計	15,264	18,391
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	5,655	5,744
機械装置及び運搬具(純額)	425	414
工具、器具及び備品(純額)	692	436
土地	8,219	6,403
リース資産(純額)	601	373
建設仮勘定	14	226
有形固定資産合計	15,609	13,599
無形固定資産		
借地権	913	913
リース資産	8	6
その他	171	369
無形固定資産合計	1,092	1,288
投資その他の資産		
投資有価証券	296	294
出資金	4	4
長期貸付金	116	101
差入保証金	6,277	5,954
敷金	3,921	3,623
繰延税金資産	42	78
その他	360	365
貸倒引当金	△266	△249
投資その他の資産合計	10,752	10,173
固定資産合計	27,455	25,061
資産合計	42,719	43,453

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年8月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年5月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	2,242	2,060
短期借入金	1,895	285
1年内返済予定の長期借入金	2,167	2,188
1年内償還予定の社債	200	190
リース債務	339	195
未払金	2,659	2,739
未払法人税等	362	965
未払消費税等	705	251
賞与引当金	94	227
株主優待引当金	113	88
店舗閉鎖損失引当金	47	-
資産除去債務	4	13
その他	421	776
流動負債合計	11,254	9,984
固定負債		
社債	150	60
長期借入金	5,029	4,331
リース債務	314	261
退職給付に係る負債	1,616	1,686
役員退職慰労引当金	642	580
受入保証金	542	600
資産除去債務	1,057	1,049
繰延税金負債	57	5
その他	0	0
固定負債合計	9,411	8,577
負債合計	20,665	18,561
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,626	8,626
資本剰余金	9,908	9,908
利益剰余金	4,245	6,632
自己株式	△602	△602
株主資本合計	22,177	24,564
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	151	154
土地再評価差額金	△436	△5
その他の包括利益累計額合計	△285	148
非支配株主持分	161	178
純資産合計	22,053	24,892
負債純資産合計	42,719	43,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年9月1日 至平成28年5月31日)
売上高	53,492	51,923
売上原価	19,834	19,492
売上総利益	33,658	32,430
販売費及び一般管理費	33,560	32,190
営業利益	97	240
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	2	2
受取保険金	30	6
その他	48	57
営業外収益合計	83	69
営業外費用		
支払利息	49	40
貸倒引当金繰入額	0	0
その他	28	21
営業外費用合計	78	62
経常利益	102	247
特別利益		
固定資産売却益	206	4,764
受取補償金	170	29
特別利益合計	376	4,793
特別損失		
固定資産売却損	2	46
固定資産除却損	91	150
店舗関係整理損	39	62
減損損失	317	769
特別損失合計	451	1,028
税金等調整前四半期純利益	27	4,012
法人税、住民税及び事業税	216	914
法人税等調整額	313	△25
法人税等合計	530	888
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△502	3,124
非支配株主に帰属する四半期純利益	2	15
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△504	3,108

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成26年9月1日 至 平成27年5月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成27年9月1日 至 平成28年5月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△502	3,124
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	51	2
土地再評価差額金	-	-
その他の包括利益合計	51	2
四半期包括利益	△450	3,126
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△453	3,110
非支配株主に係る四半期包括利益	2	15

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フランチ ャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	45,228	3,223	784	297	49,534	3,957	53,492	—	53,492
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	7,847	399	—	8,271	774	9,046	△9,046	—
計	45,253	11,070	1,184	297	57,806	4,732	62,538	△9,046	53,492
セグメント利益	863	356	220	218	1,660	102	1,762	△1,664	97

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,664百万円には、セグメント間の取引消去4百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,669百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において317百万円であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成27年9月1日至平成28年5月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連 結損益計 算書計上 額 (注) 3
	飲食事業	卸売事業	不動産事 業	フラン チャイズ事 業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	43,231	3,223	782	301	47,538	4,384	51,923	—	51,923
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	7,882	366	—	8,273	804	9,078	△9,078	—
計	43,255	11,105	1,149	301	55,812	5,189	61,001	△9,078	51,923
セグメント利益	1,061	390	205	208	1,866	134	2,001	△1,760	240

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、運送事業、飲料水の製造・販売事業等を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,760百万円には、セグメント間の取引消去2百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△1,762百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「飲食事業」セグメントにおいて、店舗資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において393百万円であります。

「不動産事業」セグメントにおいて、賃貸資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において101百万円であります。

「その他」セグメントにおいて、その他の資産の減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間において274百万円であります。